

人と地域とJAを結ぶ

まんま

manma!

北新潟

食と農を通じ
人々の笑顔を未来へ

9月号

2025

Vol.19

JA北新潟

JA北新潟PR隊スタート!
田辺美月さん
隊長に☆

特集

おいしい新米を消費者へ

Contents

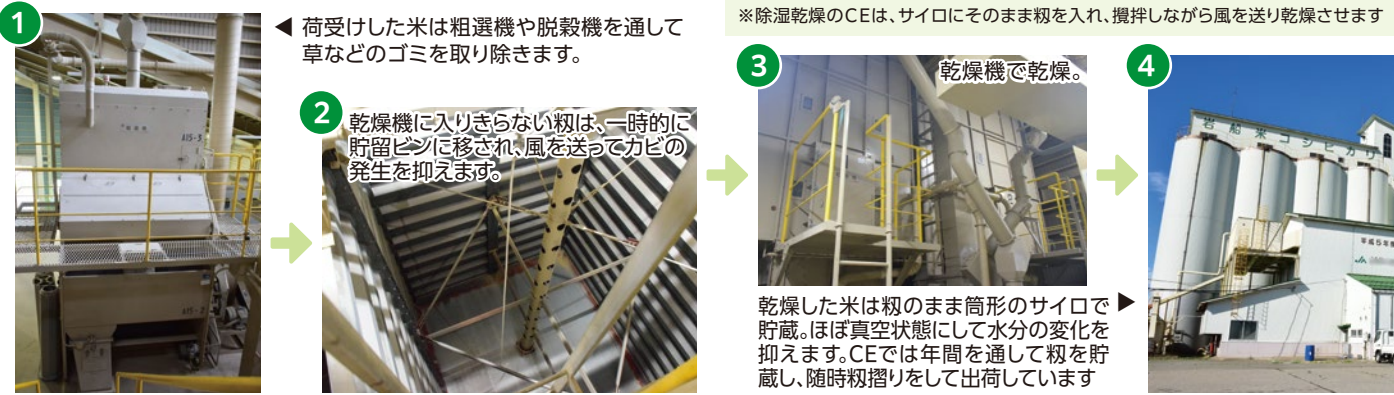
特集 おいしい新米を消費者へ.....	2
北新潟News	5
コミュニティmanma／ぶらり北新潟.....	12
manmaの台所	14



JA北新潟は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

カントリーエレベーターの構造

CEに集荷された米は、水分が14.5～15%程度になるまで乾燥を必要とします。CEでの乾燥は火力による「熱乾燥」と「除湿乾燥」の主に2通りがあり、写真の荒川CEは熱乾燥のCEになります。



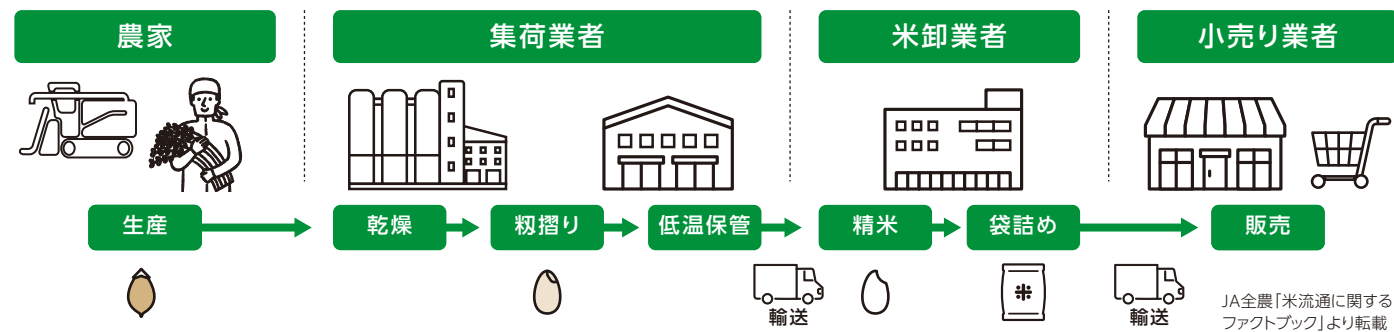
米栽培の主な流れ

お米が収穫されるまでにはこのような作業が行われます。(コシヒカリ等の例)



米の流通について

農家が生産したお米を、各事業者が専門性を発揮して、鮮度と品質を管理しながら、全国各地へ流通させることで、消費者においしい状態でお届けしています。



生産資材などの価格が上昇し、米生産にかかる生産コストも年々上昇しています。今年度、当JAでも生産者のみなさまへ実際にかかった経費などの生産費調査を行わせていただきました。

生産者のみなさまには持続可能なお米の生産のために所得を確保していただきたい、消費者のみなさまへお米を安定して供給し、安心して召し上がっていただきたい。これがJAの願いです。今年の秋の収穫・出荷も間もなく始まります。

生産者のみなさま、JAへ1俵でも多くの出荷をどうぞよろしくお願いいたします。消費者のみなさまには、猛暑・渇水、そしてその後の豪雨といった災害級の厳しい気象条件の中、栽培管理に努め、おいしくなるよう丹精込めて育てたお米をぜひご賞味ください。



おいしい新米を消費者へ

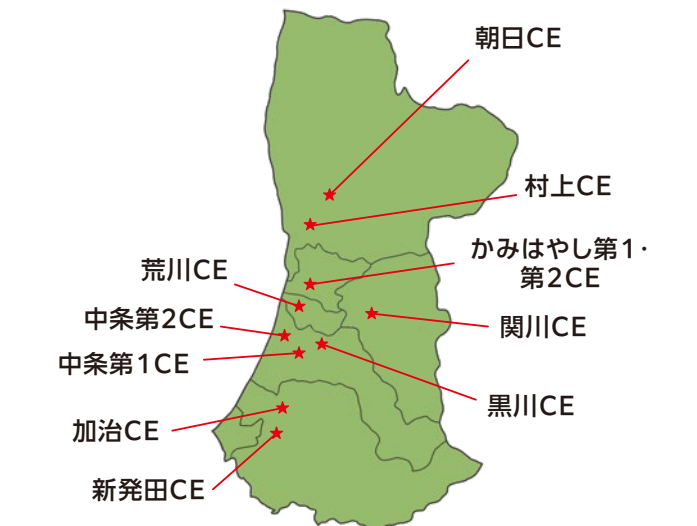
お米がどのように栽培され、流通するかご紹介します



管内10ヶ所のカントリーエレベーター(CE)



秋、米の収穫期を迎えると、米農家のみなさんは各地区にある米倉庫やカントリーエレベーター(以下・CE)に刈り取った米を持ち込みます。CEは、乾燥、貯蔵、調製、出荷までを一貫して行う施設で、農家のみなさんが収穫した米をまとめて管理、出荷しています。



※CEはカントリーエレベーターの略称です



▲ 加治CEでは昨年度、3,100トンほどの米を籾の状態を受け入れました。これを精米に換算すると、おおよそ1,950トンになります。

例えばこれを1人当たりのお米の消費量に換算すると、令和4年度で年間50.9キロ(農林水産省HPより)ということなので、3万8,000人以上を賄っていることになります。

ぐらりと管内のニュースをお届けします



北新潟 News

かみはやし地区

2025.7.30,8.8

熱中症予防へ 村上桜ヶ丘高生がパトロール

村上桜ヶ丘高校の農業森林系列作物専攻GAP班の生徒4人が、熱中症事故対策としてJA役職員とともに神林地区の圃場をパトロールし、農作業中の農家に熱中症予防を呼び掛けました。(8月号参照)

生徒たちは、作業中の人たちに声を掛け、普段の作業時の休憩や水分補給の有無などを聞き取り、「熱中症に気をつけて作業してください」と注意喚起。スポーツドリンクを手渡しました。

生徒たちは、注意喚起とともに聞き取った内容もデータとしてまとめ、発表したいとしています。

熱中症への注意喚起は、JAでも営農指導員などを中心に随時行っています。



農作業中の人へ
熱中症予防を
呼び掛ける生徒たち

2025.7.27

㈱ライフサポート北新潟 葬祭ホール活用しヨガ・坐禅体験

㈱ライフサポート北新潟は虹のホールしばたで地域の方を対象に「ヨガ・坐禅体験会・精進料理食会」を開催しました。今年で3回目となる人気の企画で50人を超える参加者がヨガで身体をほぐし、坐禅で静けさに耳を傾けました。

講師は渡邊亜紀菜さんが務め、無理のないポーズで身体を伸ばした後、ライトを消しホールの天井に備えられた星空を眺めながらヨガ体験を締めくくりました。

坐禅は管内3ヶ所の寺院の住職の指導で、約1時間ほど体験しました。

昼食には手作りのゴマ豆腐やおかゆといった精進料理が提供されました。

参加者は「静かで環境もよく、楽しませてもらった。また開催してもらいたい」と話しました。



警察の作法を習う参加者

にいがた岩船地区

胎内地区

2025.8.6

最優秀賞に小野正義さん 村上牛枝肉研究会

村上牛生産協議会は、生産者や関係者21人が参加し、7月11日に東京都中央卸売市場食肉市場で開かれた村上牛枝肉研究会の表彰式を村上市の料理店で開きました。最優秀賞には胎内市の小野正義さんが輝きました。

研究会には去勢20頭、メス4頭の24頭が出品され、A5・20頭、A4・3頭と、4等級以上の村上牛の認定率は96%でした。平均単価は2524円、平均枝肉重量547キロ、ロース芯面積81.9平方センチ、歩留まり76.8%など、高レベルの研究会となりました。最優秀牛の単価は2986円、枝肉重量は582キロでした。

最優秀賞以外の入賞者は次の通り(敬称略)。

【優秀賞】坂上隆夫(胎内市)、
漆間平(村上市)

【優良賞】吉田寿継(村上市)、
漆間平、山賀治彦(村上市)



最優秀表彰を受ける小野さん

2025.7.24

JA北新潟ブランド枝豆『えちご茶豆』 「第4回 全国えだまめ選手権」で今年は銀賞!

ブランド枝豆『えちご茶豆』が日本野菜ソムリエ協会(所在地:東京都中央区)の開催する「第4回 全国えだまめ選手権」で【銀賞】を受賞しました。(昨年は銅賞)

全国各地の産地から届いた枝豆を野菜ソムリエが食味、おいしさを審査。全員の合計点数により各賞が決定されました。

「甘みと旨味が強くバランスが良い」「ふっくらした豆で食感が良く、香りが良い」などと、審査員から高い評価をいただきました。

(今年のえちご茶豆の販売は終了いたしました)



ご存じですか? 岩船米コシヒカリ

甘み、粘り、ツヤ、香りの高さが特長の新潟県産コシヒカリ。国内の銘柄米の中でもトップクラスの新潟県産コシヒカリですが、産地は県内で4つに区分けされています。岩船産もその一つで、岩船米コシヒカリは魚沼産、佐渡産とともに、産地区分され出荷されています。

岩船産として上場する以前は、当時の村上市と岩船郡内6つの農協それぞれの地区でコシヒカリが生産され、販売は県経済連が担っていました。産地間競争が激化する中、6つの農協が協力しあってひとつの産地にまとまろうとする動きが高まり、岩船米改良協会が設立されました。その販売戦略の一環として生産者から出荷俵数に応じた協力金(資金)を拠出してもらい、卸業者や消費地へ出向くなど、生産者と一緒になって販売促進に力を入れてきました。それが実を結び、美味しい米づくりには欠かせない気温の寒暖差と豊富な水で育てられた岩船産米は卸業者からのニーズも高く、産地化する声が上がりました。

新潟県産コシヒカリは県経済連を通し県産米として出荷されていましたが、平成7年産米から産地区分して上場する地区別上場(別建て上場)が始まり、産地明記をすることで高値販売を目指す動きが高まってきました。その結果、銘柄米の細分化が進み、平成8年産からは佐渡産も加わって現在の4つの区分(新潟産、魚沼産、岩船産、佐渡産)となったとされています。

取材協力・出典 新潟日報(1995.7.19朝刊)、読売新聞(1996.3.20朝刊)
村上市田島勉様(当時のJA米穀担当)

JA北新潟では管内産のお米として「JA北新潟コシヒカリ」「胎内市産コシヒカリ」「岩船米コシヒカリ」がJA直売所や管内のお店で売られています。

今年の販売開始時期等については、次号のmanma! 10月号でお知らせします!

8/2

JA北新潟PR隊任命式を開催 PR隊長に田辺美月さん就任!

管内の農畜産物や農業の魅力を知って、体感いただき、輪を広げてもらいたいと当JAはJAモニターを募集し、「JA北新潟PR隊」と名付け、8月2日に任命式を行いました。

開会にあたり近田俊幸理事長が「地域農業の大切さ、JAの役割などを知っていただきたいと募集をさせていただきました。自らが楽しんでいただき、経験したことや感じたことをありのままに伝えていただきたい」とあいさつしました。

PR隊の皆さんに、近田理事長から委嘱状、またPR隊長に就任したタレントの田辺美月さんからPR隊証が手渡されました。

農業体験としてアスパラガスの収穫体験を㈱高田農園様で行いました。アスパラガスの収穫の仕方を習いそれぞれが収穫を楽しみました。SNS講座として田辺さんが投稿の仕方やスマートフォンのカメラの使い方を説明し、実際にその場で投稿しました。

当JAで穫れた夏野菜を使用した特製のお弁当で昼食を取りました。

参加者は「夏にアスパラガスがどのように栽培されているか知らなかった。とても良い機会になった」と話しました。

PR隊の皆さんには今後アンケートの協力やJA施設見学などの体験などを予定しています。



田辺さんは元SKE48のメンバーとしてアイドル活動をされていました。現在は地域活性化タレントとして活躍されています。



JAからののお知らせ

JAバンクを装ったフィッシングメールにご注意ください!

偽メールに気をつけてください!



ポイント

フィッシングメールなどに記載されているURLにはアクセスしない!

偽サイトにはID・口座番号・パスワード等は絶対に入力しないでください。

<要注意>

特にワンタイムパスワードを漏洩すると、犯人側で送金が可能となり、**貯金残高の全額を不正送金されるリスクがあります。**

フィッシングメールの被害に遭われたと思ったら…緊急停止を実施してください。

【JAネットバンク ヘルプデスク】
☎0120-058-098

【JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター】（土日祝日24時間受付、平日17時～翌9時）

☎ 0120-887-239 ※平日9時～17時は、お取引引きのある支店へ連絡ください。
また、ATMコーナーのオートホンからも緊急停止が可能です。

JAバンク

にいがた岩船地区

2025.8.1

荒川地区 民謡流しに500人参加

「村上市花火大会in清流あらかわ」の前夜祭として、JR坂町駅前の通りで民謡流しが行われました。

民謡流しには地元の事業所やスポーツ少年団など19団体・500人以上が参加。当JAも荒川支店の職員を中心に22人が参加して「あらかわ音頭」を踊り、地区の盛り上げに一役買いました。

地元小中学生による演奏や、ダンスチームによるダンス、神輿の渡御なども行われ集まった大勢の人たちが笑顔で楽しんでいました。



当JAも民謡流しに参加しました

胎内地区

2025.8.4

メロン出荷前目合わせ会

果菜部会(胎内地区)は盆用メロンの目合わせ会を胎内園芸センターで開き、品質や出荷方法、糖度や食味を確認しました。生産者やJA、市場の担当者合わせて7人が参加しました。

胎内園芸センターの佐久間恒センター長は「今年は大玉傾向で、収量・品質共に良好。糖度は出荷基準を満たしているの、時期を逃さないよう順次出荷してほしい」と呼びかけました。

胎内地区では4人の生産者が青肉の「アールスメルダ」を栽培しています。今年は8月6日から8月9日までの期間、各サイズ(1号2玉、または4～8玉入り)合わせて総出荷量708ケースが出荷されました。



糖度を測定する 佐久間センター長

北越後地区

2025.7.2

職場体験学習を通し農業・食に関わる社会を学ぶ

猿橋中学校2年生2人がキャリア教育の一環として「職場体験学習」で2日間JAを訪れました。働くことの意義、苦労、やりがいを知り、働くことへの意欲を育てることなどが目的です。

JAでは広報業務の体験を通して、農業の魅力や苦労などを生産者に取材し、記事にすることで農業への理解を深めてもらうことを狙いとしていました。

初日はJAの役割などを説明し、その後稲作生産者である武藤直樹さんの元へ出向き、稲作経営の大変さや大型機械導入による仕事の効率化などを学びました。2日目の体験では直売所「こったま～や」出荷者に取材をし、野菜栽培ややりがいについて聞き取りました。

また、実際の農業体験として新発田市でアスパラガスを栽培する京野寿一さんのハウスで収穫体験を行いました。

2日間の体験を通し、渡邊結斗さんは「食べ物には当たり前にある訳ではなく、暑い中頑張ってくれる人がいるおかげだとわかった」と、星野仁さんは「農業は販売する場所があって成り立つことがわかった。そこにはこったま～ややJAなどの協力があってこそだと気づいた」と話しました。



ローン等をご契約いただいたお客様へのお知らせ (ローン等の返済にかかるご案内業務の一部委託について)

当組合では、業務の効率化を図るために、2025年9月16日よりローン等の管理業務等の一部を「系統債権管理回収機構株式会社」への委託を通じて、「日本債権回収株式会社」へ再委託することとなりました。

つきましては、お借り入れいただきましたローン等の元金、利息、および保証料のご返済にかかるご案内を、当組合の他に「日本債権回収株式会社」からも、ご連絡させていただくことがあります。当組合は、地域のパートナーとして今後もご満足いただける金融サービスを提供するために、引き続き努力を重ねてまいります。今後とも、より一層のお引き立てを心よりお願い申し上げます。

※債権回収会社(通称：サービサー)とは、金融機関等から委託を受けまたは譲り受けて、特定金銭債権の管理回収を行う法務大臣の許可を得た民間の債権管理回収専門業者であり、許可を受けた債権回収会社は、法務省ホームページ(<http://www.moj.go.jp/>)で確認することが可能です。

経営管理委員及び理事に関する情報提供窓口の明示について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法(法第35条の5)及び農協法施行規則(第81条)に基づき、経営管理委員及び理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を求めています。

当組合の経営管理委員及び理事の組合経営に関する気になる行為について、見たり聞いたりした事柄があれば電話・FAXまたは封書にて下記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

北新潟農業協同組合 監事会

●連絡先

住所	〒957-0011 新発田市島潟1184番地1
電話番号	0254-26-6633
FAX	0254-22-3939
部署名	監査部(監事会事務局)
受付監事	常勤監事 松村 康成

お電話の場合は、月曜日～金曜日(祝日を除く)の8時30分～17時までの間にお願いします。
※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。
※当組合の業務に関する一般的な苦情については、下記の窓口をご利用ください。

【一般苦情相談窓口】

1. 支店・施設

店舗	最寄りの各支店・施設
受付時間	支店・施設の営業時間内

2. 本店

住所	〒957-0011 新発田市島潟1184番地1
電話番号	0254-26-2600
FAX	0254-22-4979
部署名	本店の各部・課 (企画総務部・金融共済部・営農販売部・経済部)
受付時間	8時30分～17時(金融機関の休業日を除く)

広報誌「manma!」に広告を出しませんか

- 掲載位置・募集数
掲載位置はページ下段。
最大4～6枠(1ページあたり最大2枠)とする。
- 規格・掲載料

1枠	縦60mm×横90mm	1回	22,000円(税込)
----	-------------	----	-------------
- 広告掲載の決定と通知
お申し込み受付後、審査を行い掲載の可否をお知らせします。
- お問い合わせ・お申し込み先
企画総務部組織広報課までお申込み下さい。
TEL 0254-26-2600

緊急情報は緊急告知FMラジオで!

このラジオは、緊急時に自動放送され、J-ALERT(全国瞬時警報システム)にも対応。新発田地域の地震・津波・気象・水害などの緊急情報をいち早くお伝えします。
試験放送：毎月第1金曜 12:30

76.9
Rich on Niche!
シバラジ



- 価格：9,900円(税込)
- エフエムしばた他で販売中

株式会社エフエムしばた 〒957-0053 新潟県新発田市中心町5-8-47
Tel 0254-23-8800 <https://shibaradi769.com>

〈有料広告〉

年金友の会グラウンドゴルフ大会のご案内

年金友の会グラウンドゴルフ大会を下記のとおり開催いたします。

年金友の会は、当JAに年金振込を指定されている方を会員として活動しております。大勢の皆様からご参加くださいますようご案内申し上げます。

- 日時 10月22日(水) 午前9時開始(お昼頃、閉会予定です)
雨天決行いたします。荒天の場合は中止いたします。
- 場所 胎内市総合グラウンド陸上競技場
- 参加資格 年金友の会 会員(当JAで年金を受給されている方)
- 参加費 1名300円(大会当日、受付時にお支払い願います)
- 大会要領 大会前に参加者へ送らせていただきます。
- 申込締切 9月30日(火)
- 募集人員 140名
- 申込先 各支店に申込書を用意しております。申し込み漏れ防止のため、申込書の提出をお願いいたします。
- その他 男女別1～5位まで表彰のほか、参加賞等を用意しております。



共済センター設置と業務集約について



各支店でご利用いただいている「共済窓口業務」につきまして、6月より4拠点センターへ業務集約し、新たな体制でスタートいたしました。

拠点センターおよび営業時間につきましては以下の通りとなります。皆様のご来店をお待ちしております。

拠点センター		通常営業時間	特定日営業時間	特定日	休業日
共済センター中央店	現在の共済センター中央店	9:00 } 15:00	9:00 } 18:00	毎週木曜日	毎週土曜 日曜 祝日
共済センター胎内店	現在の胎内支店内			毎週水曜日	
共済センター村上店	現在の村上支店内			毎週火曜日	
共済センター村上店 かみはやし営業所	現在のかみはやし支店内		—	—	

※JA北新潟の共済契約者様・ご利用者様は、いずれの共済センターもご利用可能です。



Instagram やってます!
@kitaniigata
seisounenjyoseibu
#ja北新潟



セルフメンテナンス講習会

青壮年部新発田支部は7月11日、新発田農機研修センターで「セルフ農機メンテナンス講習会」を開き、部員6人が参加しました。草刈りや防除作業が盛んになる7、8月に、知識の向上と安全性確保を目的に初めて開催しました。

メーカー担当者が、刈払機の安全作業と事故対策のポイントを解説し、「刈払機や背負動噴は日頃の点検やメンテナンスが機械を長持ちさせることにつながる」と説明。参加者は熱心に耳を傾けていました。

新保喬也支部長は、「この時期使う機械について学べて良かった。機械のメンテナンスを行うことで寿命が延びるよう、今後は目を配っていきたい」と話していました。



メーカー担当者の説明を熱心に聞く参加者

介護施設でボランティア活動

女性部かみはやし地区は7月5日、部員20人が参加して地域の介護施設の清掃活動を行いました。

40年以上前から慰問ボランティアとして、施設利用者に演劇を見せるなど交流を続けてきましたが、新型コロナウイルスなど感染症の流行に伴い、施設内での活動が出来なくなったことで、数年前から草取り作業を行っています。

当日は朝6時から鎌を手に持ち約1時間かけて生い茂った雑草を刈り取りしました。参加者の1人は「家族が施設でお世話になりとても感謝している。お礼も込めてこの取り組みには毎年参加している」と話していました。



◀慰問ボランティアとして
草取りをする女性部員

夏休みこども料理教室

女性部胎内地区は7月26日「夏休みこども料理教室」を胎内支店で開催し、親子19人が参加しました。

メニューは「阿賀北ポークのポークライスロール」「トマトとコーンのスープ」「米粉クレープ」の3品。スープはJAグループの食農教育をすすめるこども雑誌『ちゃぐりん』のレシピを活用しました。子どもたちは「簡単でおいしかった」「家族に作ってあげたい」と感想を話しました。

おいしく食べたあとは、紙芝居『あつまれ おこめつづ』の読み聞かせを行い、フードロス削減について呼びかけました。



▲米粉クレープの作り方を教える女性部員(右)と、参加した親子

JA北新潟「フードバンク」支援活動への協力について

JA北新潟では、SDGsで掲げる「貧困をなくそう」、「飢餓をゼロに」の取組を通じて支援活動を行っております。母子家庭や子供のいる世帯などに幅広く寄り添った「フードバンク」への支援を目的として「お米」の募集をいたします。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

対象：組合員・地域住民の皆さま

日時：10月21日(火)から10月23日(木)まで ※いずれも午前9時から正午まで

受付場所：●JA北新潟島潟低温倉庫(新発田市島潟字弁天1449-1)

●胎内営農センター(胎内市本郷字家の下493-2)

●かみはやし営農センター(村上市山田930-5)

●荒川営農センター(村上市坂町字宮ノ腰2153)

●朝日営農センター(村上市古渡路648)

●各地区グリーンセンター

募集物資：お米(玄米・精米を問いません)※令和5年産から7年産に
限ります。年産を記載願います。

受付対応：実施期間中、JA職員が待機しています。

問い合わせ先：JA北新潟本店 組織広報課 0254-26-2600



日時 令和7年10月26日(日)
9:00 ~ 14:30

会場 グリーンセンターなかじょう前、
車輛センター前特設会場

管内で生産した、農畜産物を使用した軽食コーナー、毎年好評の人参や球根のつかみ取り、人気車の展示販売 など
ぜひご来場ください。

★イベントの詳細につきましては、追ってホームページでもお知らせいたします。

お誕生日ご来店プレゼント

限定特典
JA北新潟
年金受給者様

8月・9月 生まれの当JA年金受給者様は、ぜひ「年金振込通帳」をご持参の上、最寄りの支店までご来店をいただき、お声掛けください。「お誕生日プレゼント」を準備して、スタッフ一同皆様のお越しをお待ちしております。



管内各地でイベント開催



11 住み続けられる
まちづくりを

7月19日20日「こったま～や周年祭」が開かれ、店頭でマスコットキャラクターきたっちが来場者を迎えました。農家さんおすすめレシピの試食コーナーでは簡単においしく夏野菜が食べられるレシピが紹介され、試食したお客様は「おいしい!」と感想を話しました。また、生産者さんによる糖度測定コーナーではスイカの糖度の高さに驚くご家族も多く見られました。

7月20日にはJAの夏祭り「きたえちごマルシェ」が開催され、毎年人気の青壮年部縁日コーナーや、米穀担当職員による低温倉庫探検などを楽しむご家族の姿も多く見られました。屋内会場では女性部北越後地区による「シャカシャカおにぎり」「手作りうちわ」コーナーも賑わいを見せました。来場者の男性は「子供が縁日を楽しみにしてきました。喜んでくれて来てよかった」と感想を話しました。



胎内ふれあい感謝祭が6月21日に開催されました。スタートしてすぐにバナナや桃などを販売するテントに長蛇の列が出来ました。倉庫内では女性部胎内地区による米粉のホットケーキ、カップゼリーの試食やガラポン抽選会が行われ、たくさんの来場者が訪れました。



村上よれっしゃ・こいっちゃでは7月15日～周年感謝ウィークを開催し、7月19日～21日の3日間はお子様に風船やヨーヨーのプレゼントなどを行う屋外イベントや、19日土曜日にはたまごのつかみ取りなどを行いました。また、女性部岩船地区の部員がこの日のために作成した米袋のエコバックをお買い物されたお客様へプレゼントしました。



JAグループはSDGsの達成に向けて、事業・活動に取り組んでいます。



コミュニティ manma



中条花ぞの会

踊りの好きな6人が集い、胎内市中央公民館で毎週金曜日午後1時から3時、民謡や舞踊、新舞踊を曲に合わせて稽古しています。

「西崎流」名取・近藤花子先生が会を立ち上げて27年。胎内市民謡連合会に所属し、中条花ぞの会主催の発表会を4回開催しています。発表会のほか、市主催の金婚式やイベントでも踊りを披露。また毎年、中条祭民謡流しで、佐渡おけさ、中条音頭を大勢の人と踊ります。

メンバーに続けている理由を尋ねると「足腰が丈夫になって健康にとっても良い!」とのこと。表情や姿勢から若々しさを感じられました。

近藤先生は「なにより楽しむことが一番!踊りには終わりがありません。これからも勉強し初心を忘れず健康第一、みんなで楽しく続けていきたいです」と、笑顔で話していました。

中条花ぞの会
代表 近藤 花子
電話 0254-43-4833

ご見学は
ご自由にどうぞ



中条花ぞの会のメンバー。下段右から2番目が近藤先生



新曲「宝船」を練習するメンバー



令和7年5月に胎内市産業文化会館で開かれた西崎流の発表会にて



しばた しんめいぐう
新発田神明宮

新発田市大手町1-5-9
(神明宮社務所 TEL.0254-23-1096)

五穀豊穡、商売繁盛、方位除け・安全祈願の神様として知られる新発田神明宮は「おしんめいさま」と呼ばれ地域の人から親しまれています。

新発田七代藩主溝口直温が伊勢神宮外宮の「豊受大神」を勧請し、寛政元年(1748年)に遷座建立したことが始まりとされています。

今年も9月27日(土)・28日(日)の両日、「新発田豊年秋まつり」が開催され、28日は神明宮周辺を会場として農産物販売やキッチンカーなどのお店が出店する「神明マルシェ」が開催されます。お近くの方は足を運んでみてください。

イベントについてのお問い合わせは
(一社)新発田市観光協会 TEL.0254-26-6789
または「神明マルシェ」いきいきスタンプ事務局
TEL.0254-22-3053



▲▲ 昨年開催された豊年秋祭りの様子
直売所こったま～やも昨年参加しました。
今年も出店します!



◀ 2024年にオープンした珈琲店、焼き菓子店、台湾風味茶店などが立ち並び「神明マーケット」

JA北新潟の直売所をご紹介!

直売所通信

お盆の花市 各店で大盛況

新鮮な地元の盆花を販売する「お盆花市」が直売所新発田こったま〜や、胎内ふれあい蓬莱館、村上よれっしゃ・こいっちゃで開催されました。

ボリューム感があり、新鮮と毎年好評をいただき、今年も雨の中、早朝からたくさんのお客さまが列を作りました。



こったま〜や開店前の様子



胎内ふれあい蓬莱館



よれっしゃ・こいっちゃ開店後の店内



様々な花が入った盆花が店内のほか、こったま〜や下屋の特設コーナーにたくさん並びました



様々な種類の花

店内にはぼんぼりや墓こもなどのお盆用品も並び、お供え用果物、里帰り用の果物などを求めるお客さままでにぎわいました。



お供え、お土産用にと並べられたメロン



農家さん手作りの盆飾り



直売所イベント情報

お彼岸フェア

お彼岸におススメの地場産切り花・秋の味覚を揃えてお待ちしております♪

- ★新発田こったま〜や：9/13(土)～9/23(火・祝)
 - ★胎内ふれあい蓬莱館：9/19(金)～9/23(火・祝)
 - ★村上よれっしゃ・こいっちゃ：9/19(金)～9/23(火・祝)
- ※9/23(火・祝)は全店ともに臨時営業します。



食べよう北新潟産

JA北新潟直売所カレンダー



各直売所の
イベント情報掲載中!
ぜひご覧ください♪

